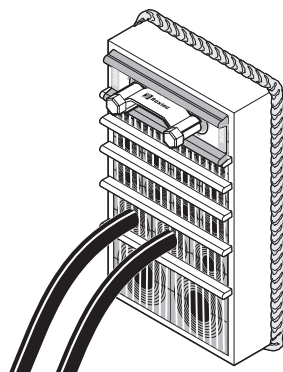


施工説明書

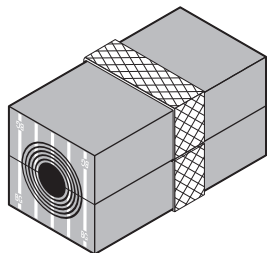
Roxtec RM BG™ システム



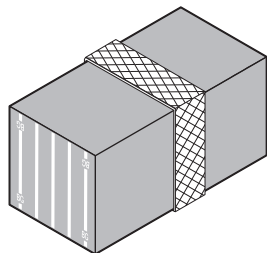
安全に関する情報

施工は、設備を停止してから行うことをおすすめします。国内の規制や施工に関する法令に従ってください。敷設済みの配線や設備に影響がある場合は、メーカーの指示に従って施工してください。

構成部品



Roxtec RM BG モジュール

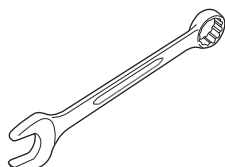


Roxtec RM BG ソリッドモジュール

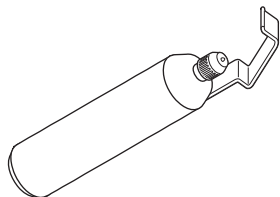


Roxtec 潤滑剤

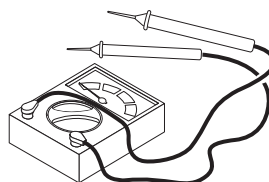
工具



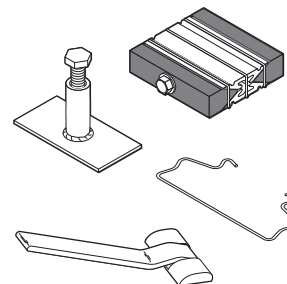
スパナ 13 mm
(含まれません)



ケーブルストリッパー
ケーブルメーカー推奨品
(含まれません)



導通テスター
(含まれません)



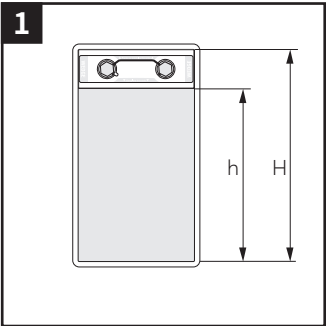
Roxtec 施工補助ツール
(含まれません)

技術情報

名称	外径WxHxD (mm)	ケーブルまたはパイプ Ø (mm) 用	編組断面 / ケーブル (mm ²)	ほぼ同サイズの AWG
RM 20 BG	20×20×60	4 - 14.5	8	8
RM 20w40 BG	40×20×60	3.5 - 16.5	4	11
RM 30 BG	30×30×60	10 - 25	13	6
RM 30H90 BG	30×90×60	10 - 25	21	4
RM 40 BG	40×40×60	21.5 - 34.5	21	4
RM 40 10-32 BG	40×40×60	9.5 - 32.5	21	4
RM 40H80 BG	40×80×60	21.5 - 34.5	42	1
RM 60 BG	60×60×60	28 - 54	42	1
RM 60 24-54 BG	60×60×60	24 - 54	42	1
RM 80 BG	80×80×60	48 - 71	42	1
RM 90 BG	90×90×60	48 - 71	42	1
RM 120 BG	120×120×60	67.5 - 99	42	1
RM 10w120/0 BG	120×10×60	0	-	-
RM 20/0 BG	20×20×60	0	-	-
RM 30/0 BG	30×30×60	0	-	-
RM 30H90/0 BG	30×90×60	0	-	-
RM 40/0 BG	40×40×60	0	-	-
RM 40H80/0 BG	40×80×60	0	-	-
RM 60/0 BG	60×60×60	0	-	-
RM 20/0 RC BG	20×20×60	0	-	-
RM 40/0 RC BG	40×40×60	0	-	-

各モジュールの適用範囲は、露出するケーブルアーマー部の最小径からケーブル外皮の最大径を示しています。 芯棒付きのモジュールは予備モジュールとして使用可能です。

パッキングスペース

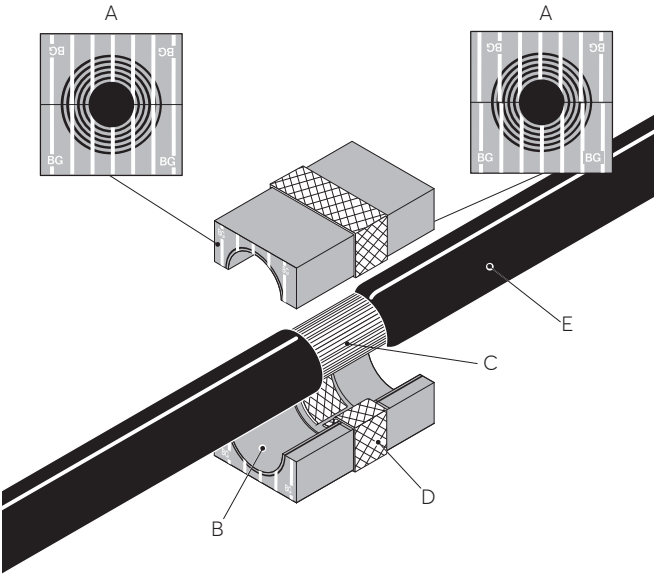


H	h
101	60
160	120
218	180
278	240

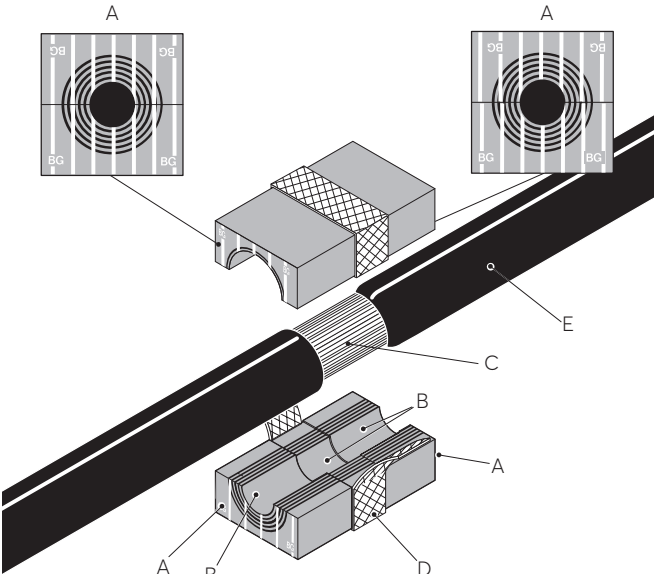
フレームの内法高さ (H) を測定し、対応するパッキングスペースの高さ (h) を表で確認します。 モジュールを挿入するときは、このパッキングスペースの高さを参考にしてください。

モジュールに収まるケーブルの位置

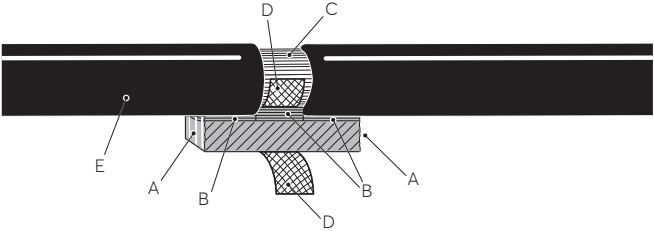
- A：環境側
B：剥がせるゴム層
C：ケーブルアーマー部
- D：モジュールブレイド部
E：ケーブル外皮



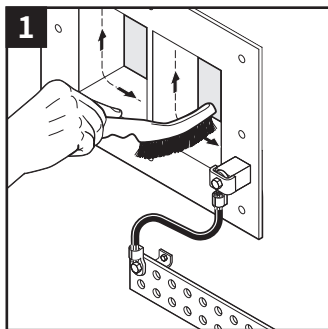
ブレイドが折り込まれた状態



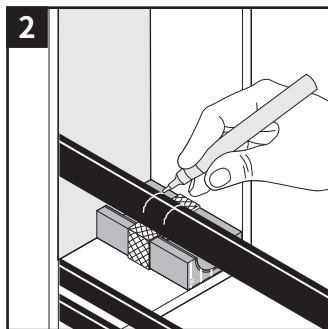
ブレイドが外側へ開かれた状態



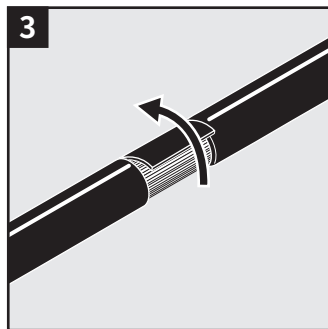
モジュール半体とケーブルの位置関係



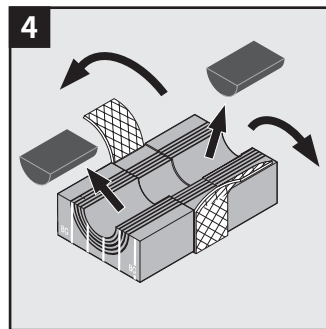
フレームをきれいにします。保護アースとの電氣的接触を確保してください。国内規制が適用されます。



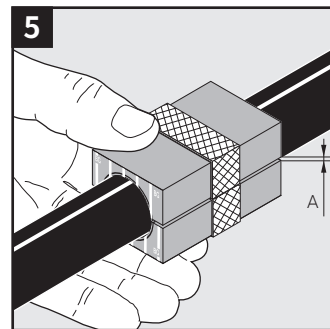
ケーブルを最終的な位置で止め、モジュールを使って、除去するケーブル外皮の位置に印を付けます。



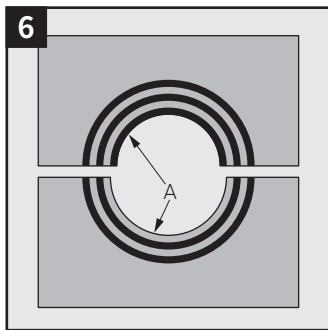
外皮とプラスチック箔をすべて除去します。ケーブルのアーマー部分は、導電性を確保できるきれいな状態にしてください。



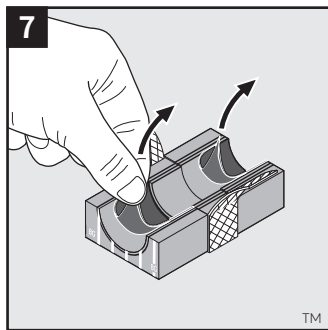
予備以外のモジュールの芯棒を取り外し、ブレードを折り込みます。



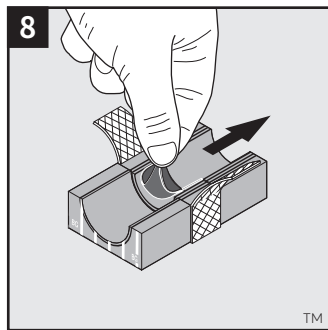
対になるモジュール間の隙間 (A) が 0.1~1.0 mm になるように、層を剥がします。



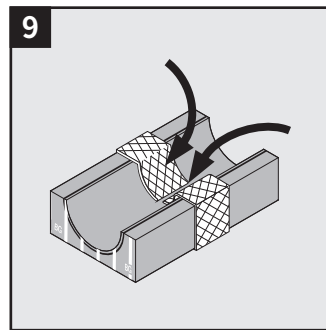
図の A で示す通り、対になるモジュールのレイヤーの枚数差は 1 枚までです。



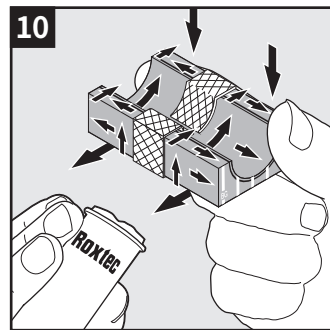
ケーブル外皮と接触するゴム層を調整します。



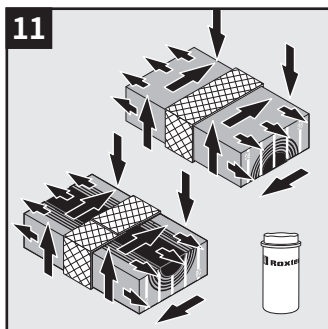
ケーブルのアーマー部と接触する層を調整します。



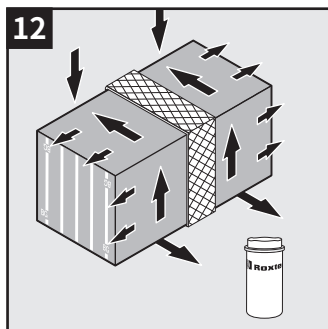
ブレードをモジュールの内側にしっかりと折り込みます。



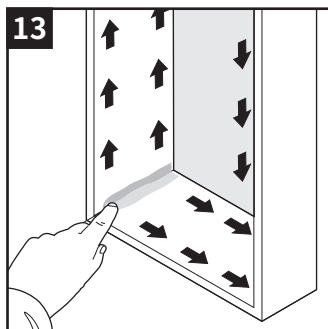
モジュールのすべてのシール面に潤滑剤を塗ります。ブレードには潤滑剤を塗らないよう注意してください。



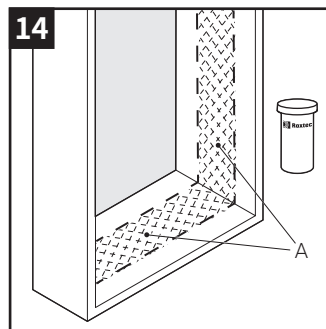
予備用モジュールのシール面に潤滑剤を塗ります。黒い芯棒は外さないでください。



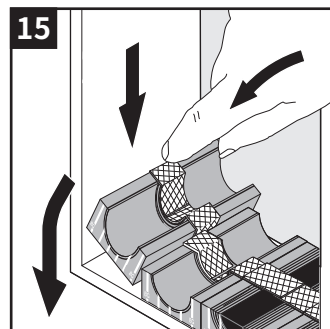
ソリッドモジュールのシール面に潤滑剤を塗ります。



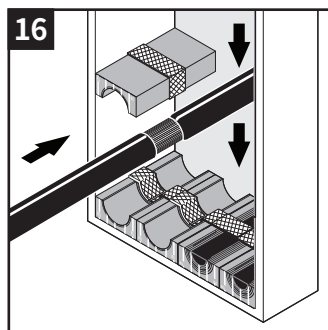
フレームの内側に潤滑剤を塗ります。角部は念入りに塗ります。



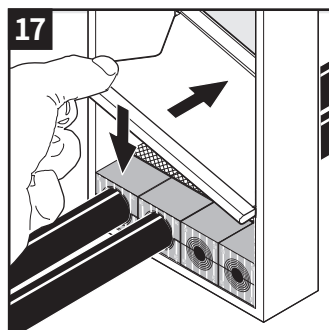
ブレードと接触する部分 (A) は、潤滑剤を軽く塗る程度にしてください。



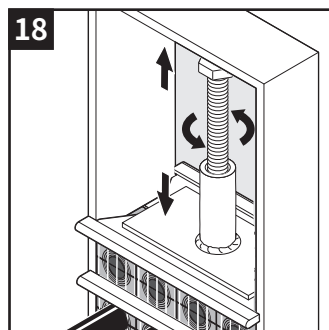
パッキングプランに従ってモジュールを配列します。



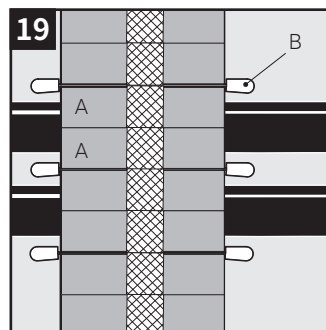
ケーブルを配置し、対になるモジュールの上に乘せます。



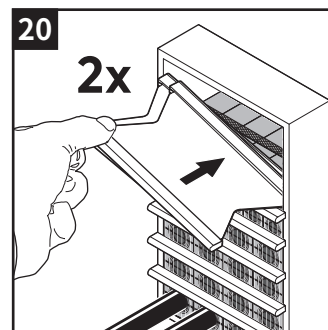
モジュールの列が1つ完成する毎に、その上にステイプレートを挿入します。



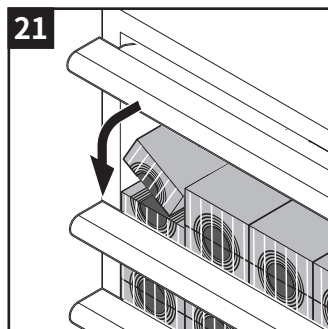
プリ・コンプレッション・ツールを使うと作業しやすくなります。



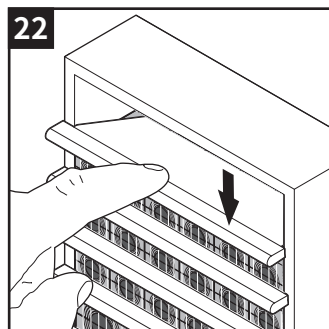
モジュール (A) がステイプレートの縁 (B) の内側に収まっていることを確認します。



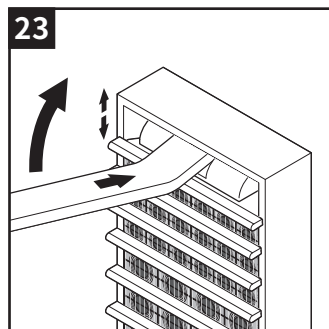
最終列のモジュールを入れる前に、ステイプレートを2枚挿入します。



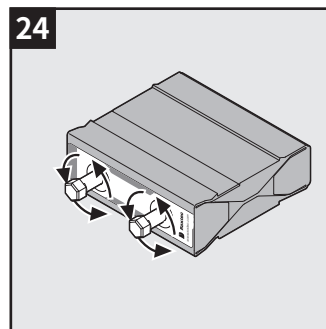
挿入した2枚のステイプレートの間にモジュールの最終列を収めます。



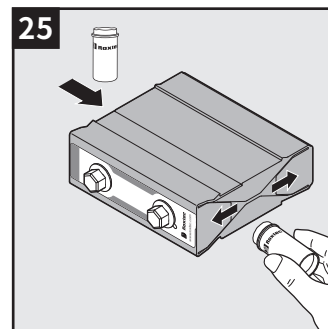
上にあるステイプレートを最終列のモジュールの上に置きます。



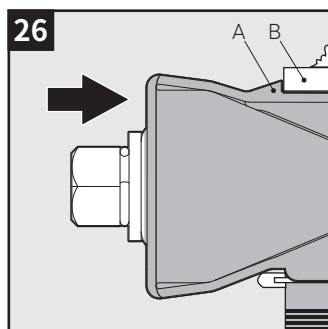
プリ・コンプレッション・ツールの使用がおすすめです。



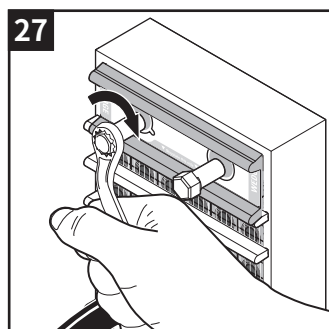
ウェッジを挿入する前に、ボルトを反時計回りに完全に止まるまで回します。



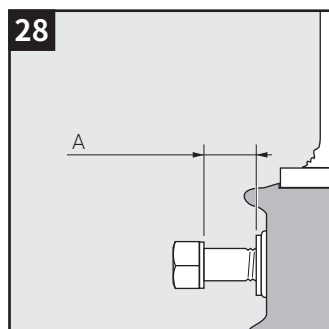
ウェッジの図が示すエリアに潤滑剤を塗ります。



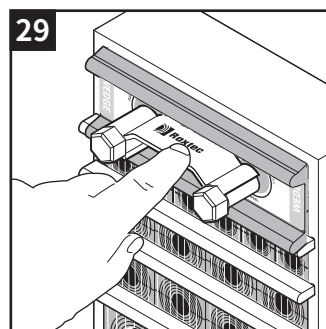
ウェッジを挿入し、突起部 (A) がフレーム (B) に接触するようにしてください。



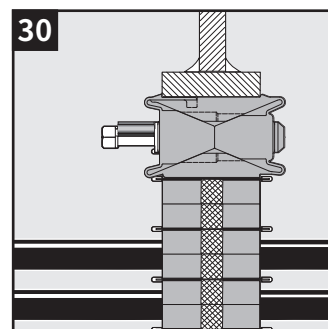
ボルトが完全に止まるまで、交互にボルトを締め付けます (最大 20 Nm)。



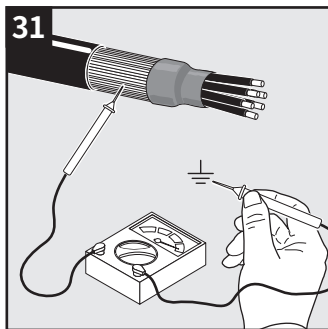
図の A が示すように、ボルトの首下が 25 mm 露出するまで締め込みます。



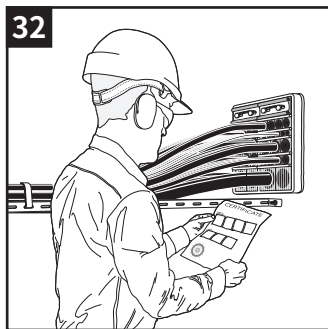
ウェッジクリップをウェッジのボルトにはめ込んだら施工完了です。



施工が完了した状態の図

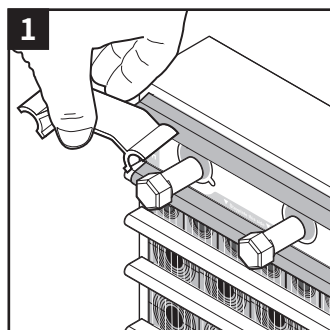


電氣的導通テストをおすすめします。

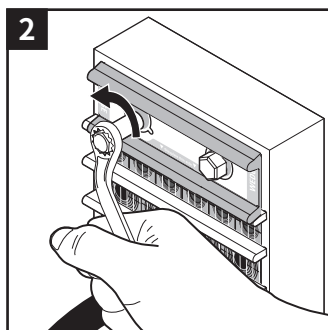


必要に応じて、追加の文書を確認してください。

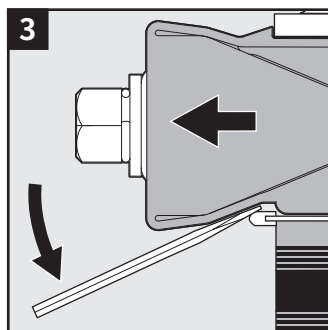
取外し手順



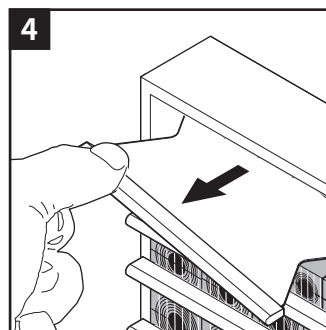
ウェッジからウェッジクリップを外します。



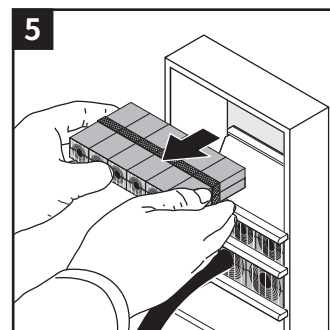
ボルトが完全に止まるまで交互に緩めます。トルク値は 20 Nm を超えないよう注意してください。



ウェッジを引き抜きます。専用の Roxtec 補助ツールもあります。

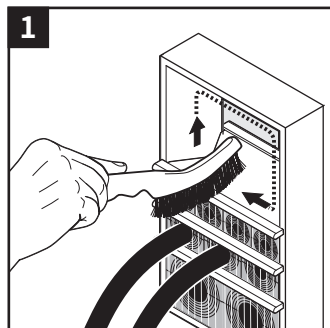


モジュールとステイプレートを取り外します。

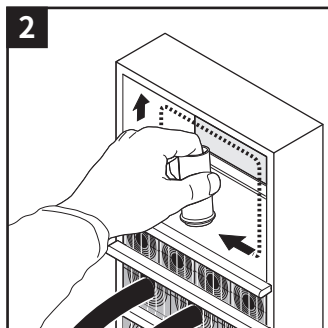


列はそのまま崩さないよう取り出します。モジュールが損傷した場合やモジュールを交換する場合は、その列のモジュールをすべて交換してください。

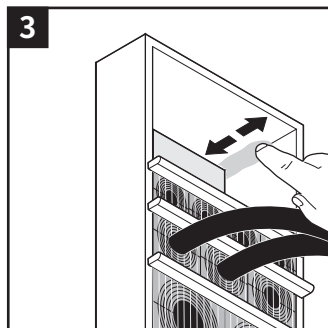
再施工手順



露出したパッキングスペースの内側は、導電性が確保できるきれいな状態にしてください。



内側表面に潤滑剤を塗ります。ブレードと接触する部分は、潤滑剤を軽く塗る程度にしてください。



角部には念入りに潤滑剤を塗ります。その後の手順を続けます。

注

- 接地・等電位ボンディングと同時に、外環境からの物質侵入を防ぐ複合的保護が可能なシーリングシステムです。 装甲ケーブルに使用します。
- Roxtec RM BG モジュールと合わせて使用します。
- レイヤーを剥がしすぎたモジュールは交換してください (レイヤーは再利用できません)。
- 確かな性能を確保するには、施工後 24 時間はケーブルやパイプに負荷や圧力をかけないでください。
- 場合によっては、導電性を確保するために腐食防止用プライマーを除去する必要があります。
- ケーブルはフレームに対して垂直な角度で挿入してください。
- 重量のあるケーブルやパイプは支えて施工する必要があります。
- ケーブルやパイプの敷設を未完の状態で長く放置する場合は、圧縮して密閉してください。
- 承認や認証の中には、この用途に関する改正点や制限条件がある場合があります。
- 本施工説明書および関連文書の最新バージョンは、roxtec.com でご確認ください。

免責事項

Roxtec ケーブルおよびパイプ・エントリー・シーリング・システム (以下、「Roxtec システム」) は様々な部品から構成されるモジュラー式のシーリングシステムです。 それぞれの構成部品は、Roxtec システムが最大限の性能を発揮するために欠かすことができません。 Roxtec システムは、様々な危険への耐性を認証されています。このような認証や耐性は、Roxtec システムを構成するすべての部品が Roxtec のライセンスを受けて製造されたもの (以下、このようなライセンスを受けた業者を「認定製造業者」とする) でない限り、認証は無効となり適用されません。 なお、Roxtec では以下要件の両方が満たされない限り、Roxtec システムの性能を保証しないものとします。(I) Roxtec システムを構成するすべての部品が認定製造業者により製造されていること、(II) 買主が以下の (a) ならびに (b) を遵守していること。

(a) Roxtec システムまたはその部品は、納入時のパッケージに入れたまま屋内で室温保管する。

(b) 施工は、その時点で有効な Roxtec の施工指示に従って行う。

Roxtec は製品情報を提供しますが、Roxtec システムまたはその構成部品の購

入者は、予定している作業方法、施工または用途に製品が適合するかどうかを、自身で判断する義務を負います。

Roxtec は、認定製造業者以外によって製造された構成部品を使用した Roxtec システム、または、本来の仕様や目的とは異なる方法や用途での施工により生じた損失または損害について、直接的、間接的、二次発生的、喪失利益、その他いずれの種類であるかを問わず、Roxtec システムまたはその部品に対して保証を行わず、一切の責任を負わないものとします。

Roxtec は、商品性および特定目的に対する適合性に関する黙示的な保証、ならびに制定法または判例法により定められたすべての明示的または黙示的な表明と保証を明示的に除外します。 ユーザーは Roxtec システムが意図する使用に適合するかどうかを判断し、その判断に関するすべてのリスクと責任を負うものとします。 いかなる場合も、Roxtec は、間接的、結果的、懲罰的、特別、または付随的な損害または損失には責任を負いません。

Roxtec の製品は、Roxtec の一般販売条件に従って提供・販売されます。 Roxtec の一般販売条件の最新版は、roxtec.com/general-terms-of-sales で閲覧・ダウンロードできます。



Roxtec International AB
Box 540, 371 23 Karlskrona, SWEDEN
+46 455 36 67 00, info@roxtec.com
www.roxtec.com